

# 入野小学校 校長室だより

2014.10.3(金) No.20 文責：芝

## スポーツの秋が続いている

数えてみると、運動会から2週間が過ぎようとしています。もう、そんなに経ったのか、あれだけ運動会一色の慌ただしい日々を思うと、夢から覚めたような今の毎日が不思議にさえ感じてしまいます。

秋本番の爽やかな今日この頃です。

4～6年生は、運動会が終わるとすぐに陸上記録会（10/10、予備日10/14）に向けた練習を始めました。まだまだ「スポーツの秋」を頑張っているところです。

「陸上の練習して、勉強も遅うまで頑張って疲れるがやない？」



と、帰りがけの6年生に尋ねてみましたが、首を横に振って笑っていました。

朝早くの練習から学校生活がスタートするなど、けっこうハードな毎日が続いていますが、ニカッと良い表情で笑って帰る様子を見ると、子どもたちは大変だけれど目標をもって頑張っているのだということが感じられます。

みんなの努力が達成感につながる陸上記録会になることを、心から願っています。

## オオカミにビックリ！

1日（水）には『読書祭り』がありました。子どもたちで中心になるのは図書委員さん。運動会一色の毎日の中で、それが終わったら陸上記録会の練習の間をぬって、もちろん、毎日の勉強や係活動もある中で準備をしてきたわけです。お疲れ様でした。

内容は読み聞かせや〇×クイズ、表彰など盛りだくさん。楽しめましたし、読書への意欲付けにもなったと思います。

子どもたちも職員も圧倒されたのが、ボランティアさんによるストーリーテリングです。



お話は「赤ずきん」ですから、たぶん子どもたちもほとんどみんなが知っていたと思います。ですが、ストーリーテリングの場合は「知っている・知らない」は、あまり影響なし。まさに「赤ずきんの世界」に引き込まれたように、みんな聴き入っていました。そんな夢中になる状況があったため、おばあさんのベッドからオオカミが出てくる場面の生ピアノの大きな効果音には、みんなが跳びあがるほど驚いてしまい、その後の赤ずきんがオオカミに飲まれる場面は「びっくりしたあ」の声を含めたざわめきの波の中で迎えました。

物語を読んだり聴いたりすると、別の世界を疑似体験できます。私の好みを申し上げると、ハッピーエンドでない話は、基本的に読みたくありません。みなさんはいかがですか。